

SHO-BOND

SHO-BOND CORPORATION

土木建築用接着剤

## エポキシ樹脂系接着剤 ショーボンド

# FC

#01 ノンサグ  
タイプ

#02 セルフレベリング  
タイプ



金属と金属の接着  
金属とコンクリートの接着用

ショーボンドFCは、土木建築用接着剤として優れた性質をもつ、2成分形のエポキシ樹脂系接着剤です。

特に金属相互の接着、金属とコンクリートの接着に最適です。

あと施工アンカーの埋込み接着、各種標識の底板やボルトの接着固定、建築金物の接着、金物と金物との接合・シールなど優れた接着力を発揮します。

ショーボンドマテリアル株式会社

## 用途

### ●FC#01 (パテ状)

垂直面への各種金物の接着。  
(添架用金物、橋名板、計測板、建築用金物、定礎板など)

### ●FC#02 (ペースト状)

水平面への鉄筋の埋込み接着など。

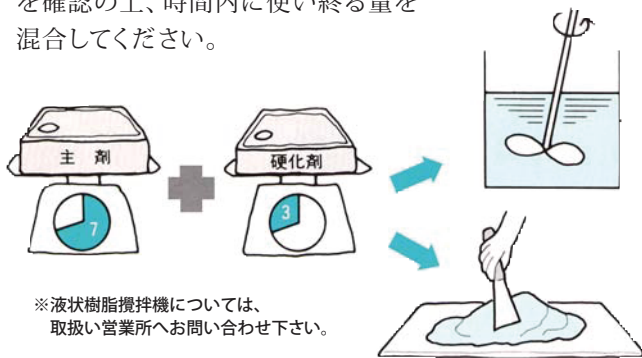
## 使用方法

①ショーボンド FC は、主剤 (赤い缶) と硬化剤 (青い缶) に分かれており、使用時に混ぜ合わせます。

②主剤と硬化剤の配合は、7:3 の重量比割合です。少量使用するときには、必ずハカリで計量してください。

③計量した主剤と硬化剤は、練り板 (FC#01) またはポリ容器 (FC#02) 内で金ペラ、攪拌棒、液状樹脂攪拌機などで十分に混合します。

④混合すると徐々に硬化を始めます。可使用時間 (表参照) を確認の上、時間内に使い終る量を混合してください。



## 施工法

### ①表面処理

充分な接着効果をあげるため、施工前に必ず接着面の表面処理を行ってください。

- 接着面のレイタンス、汚れ、錆、塗料油脂分をサンダー、ワイヤブラシ、シンナーを含ませたウエスなどで取り除きます。
- 接着面が濡れている場合は、プロパンバーナー、電気ドライヤーなどで乾燥させます。
- 穿孔した場合は、穿孔くずを圧搾空気などで完全に取り除き、乾燥させます。
- 新しいコンクリートの場合は、14 日以上養生してください。

### ②接着

接着する両面にハケ・ゴムベラなどで塗布し、すぐに接合します。

鉄筋やアンカーボルトの接着には、ボアホール内にショーボンド FC#02 を流し込み、すぐに差し込んで下さい。

### ③養生

完全に硬化するまで養生が必要です。できるかぎり下表以上の養生時間を確保してください。

### 可使用時間・養生時間・荷姿

ショーボンド FC	冬用 (W)		夏用 (S)	
	5℃	15℃	20℃	30℃
可使用時間	150分	70分	60分	30分
養生時間	45時間	20時間	24時間	15時間
荷姿	1kgセット (主剤…0.7kg 赤丸缶、硬化剤…0.3kg 青丸缶) 10kgセット (主剤…7kg 赤角缶、硬化剤…3kg 青角缶)			

### 社内規格値

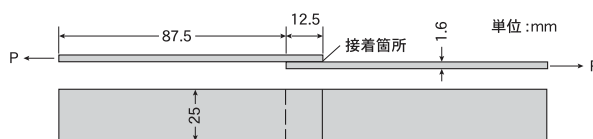
試験項目	試験方法	単位	社内規格値
比重	JIS K 7112	—	1.70±0.10
曲げ強さ	JIS K 7203	N/mm <sup>2</sup>	35以上
圧縮降伏強さ	JIS K 7208	N/mm <sup>2</sup>	55以上
圧縮弾性率	JIS K 7208	N/mm <sup>2</sup>	(3.0~7.0)×10 <sup>3</sup>
引張強さ	JIS K 7113	N/mm <sup>2</sup>	15以上
衝撃強さ	JIS K 7111	KJ/m <sup>2</sup>	1.5以上
硬さ	JIS K 7215	HDD	80以上
引張せん断接着強さ	JIS K 6850	N/mm <sup>2</sup>	12以上

■備考：試験条件は20℃、7日間です。

### ●ショーボンドFCの各種材質に対する引張りせん断接着強さ

下図のような供試体をショーボンド FC で接着させ、20℃で7日間養生した後、引張り荷重を与えます。

(JIS K 6850に準拠)



(単位：N/mm<sup>2</sup>)

材質	接着面の状態	引張せん断接着強さ
軟鋼板	黒皮をウエスで拭いた処理	10.9
	溶剤で黒皮を拭いた処理	12.7
	研磨	16.5
アルミニウム	研磨	13.8
ジュラルミン	研磨	13.2
銅	研磨	15.6
真ちゅう	研磨	12.0